

**3. 真皮内母斑 intradermal nevus** ★

母斑細胞がほぼ真皮に局限する（図 20.4）。深部に行くほどメラニン産生能が低下し、サイコロ状からやや小型で紡錘形、Schwann 細胞に類似した外観に変化する。体幹に生じた有茎性・乳頭状表面のものを Unna 色素性母斑^{ウンナ}、顔面に好発し半球状、軟毛を伴うものを Miescher 母斑^{ミーシャー}という。

特殊型**1. 巨大先天性色素性母斑
giant congenital melanocytic nevus** ★

一般的に直径 20 cm を越えるものをいう。出生時から存在し、ときに黒色の剛毛を伴う（獣皮様母斑，図 20.5）。悪性黒色腫のリスクがあり、まれに中枢神経症状を伴う（神経皮膚黒色症，p.402 参照）。

2. 分離母斑 divided nevus

主に眼瞼^{がんけん}の上下に分布する中型の母斑細胞母斑。目を閉じると一つの病変に見えるが眼を開けると眼裂により 2 つに分割される。ほとんどが出生時から存在し、黒褐色を呈する（図 20.6）。

**3. 爪甲黒色線条型母斑
melanonychia striata type nevus**

爪甲に縦走する黒色線条をきたす（図 20.7）。19 章 p.372 も参照。大部分は爪母に生じた母斑細胞母斑であるが、線条が爪^{ハツチンソン}の外にまで及ぶ場合は悪性黒色腫の可能性が高い（Hutchinson 徴候）。

4. Spitz 母斑 Spitz nevus

同義語：若年性黒色腫（juvenile melanoma），spindle and epithelioid cell nevus

Essence

- 青少年に好発する母斑細胞母斑の一種。
- 頭頸部などに突然出現，比較的急速に直径 1 cm 程度まで拡大。周囲が紅色調を呈する場合もある。
- 臨床的，病理組織学的に悪性黒色腫に類似することもある

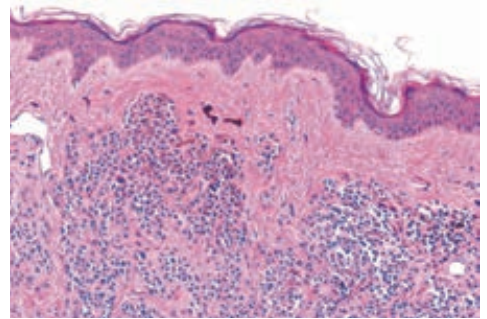


図 20.4 母斑細胞母斑の病理組織像



図 20.5 巨大先天性母斑細胞母斑 (giant congenital melanocytic nevus)



図 20.6 分離母斑 (divided nevus)



図 20.7 爪甲黒色線条型母斑 (melanonychia striata type nevus)